

2014年12月11日  
大 阪 市  
イ オ ン 株 式 会 社

## 大阪市とイオン株式会社との包括連携協定締結について

本日、大阪市（市長：橋下 徹）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田 元也）は、包括連携協定を締結しました。

この度の協定の目的は、大阪市とイオンが緊密な相互連携と、協働による活動を推進し、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、市民サービスの向上、地域の一層の活性化を図ることです。

本協定により、大阪市とイオンは、市民の安全及び地域振興、男女共同参画及び消費生活に関する事など、5項目について両者で協力し、さまざまな取り組みを進めます。

本協定の取り組みの第一弾として、イオンは12月12日（金）より、「すきやねん大阪WAON」を発行します。表面には大阪のシンボルである通天閣や大阪城、大阪名物のたこ焼き、お好み焼き、串かつなどのイラストをデザインし、裏面には日本三大祭りの一つで、水都大阪を代表する夏祭り「天神祭」船渡御をあしらいました。

イオンは、全国のWAON加盟店で本カードを使って支払われた金額の一部を、大阪市が推進する「大阪を元気にする市民活動支援の取り組み」の支援に寄付します。WAONはイオングループの店舗をはじめ、ファミリーマートやマクドナルド、エディオンなど全国約19万9,000箇所の加盟店でお使いいただけます。

本協定を機に、大阪市とイオンはこれまで以上に連携し、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に連携して取り組んでまいります。

### 記

#### 【包括連携協定の概要】

- (1) WAONカードを活用した市民活動の支援等に関する事
- (2) 市民の安全及び地域振興その他市民活動の推進に関する事
- (3) 男女共同参画及び消費生活に関する事
- (4) 人権尊重の理念の普及その他人権施策に関する事
- (5) その他、地域の活性化及び市民サービスに関する事

以上

ご参考

【「すきやねん大阪WAON」の概要】

発行開始：2014年12月12日（金）

販売場所：近畿エリアの総合スーパーの「イオン」「ダイエー」や、スーパーマーケット「KOHYO」「グルメシティ」、株式会社光洋の運営する「マックスバリュ」など、155店舗で販売をスタートし、その後全国に順次拡大いたします。

※ダイエー、グルメシティでの販売は、当初は大阪市内の店舗のみとなります

カード販売目標：初年度3万枚

発行手数料：1枚300円（税込み）

チャージ可能金額：上限5万円（1回あたりのチャージ金額は2万9,000円）

【カードデザイン】



表面



裏面

【WAONの概要】

累計発行枚数：約4,540万枚（2014年10月末現在）

年間利用金額：約1兆5,800億円（2013年度）

年間利用件数：約9億件（2013年度）

年間利用単価：約1,750円（2013年度）

利用可能箇所：約199,000箇所（2014年10月末現在）

※うち自販機・宅配便ドライバー端末 約12万6,000箇所